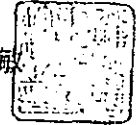


音 企 画 発

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

音更町長 山 口 武 敏



今後の道路行政に関する意見・提案の提出について

秋涼の候、貴職におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、日ごろから町政運営に対しまして、多大なるご理解とご協力を賜り、衷心より厚くお礼申し上げます。

さて、平成20年9月19日付け国道企第37号でご依頼のありましたこのことについて、別紙のとおり提出しますので、よろしくお願いいたします。

(企画部企画課企画調整係)

1. 高速自動車道、高規格道路網の整備促進・利用促進

道路網の骨格を成す高速自動車道、高規格道路について、北海道にあっては未だ十分な整備が行われておらず、物流、人的資源の交流等を円滑にするため、さらには冬期間における降雪、積雪時、また、地震の多発地帯である北海道にあっては、災害に対応し救急救命のために欠くことのできない社会資本として早期の整備を進める必要がある。

高速道路の利用促進を図るため、料金の積極的な引き下げが必要である。

2. 広域幹線道路網の整備促進

道内の主要都市や観光・景勝地は、広い地域に分散しており、これらを有機的にネットワークすることが地域活性化には不可欠であり、国道・道道の広域道路網の整備を促進すべきである。

3. 公害の発生を抑制する施設の推進

地球温暖化の原因とされる二酸化炭素の排出量を抑制するためエタノールを混ぜた燃料が注目されている。これらの普及を図る必要があると考えるが、そのためにはエタノールを取り扱う石油スタンドが全国にネットワークされなければならない、道路特定財源の用途を拡大し、業者に対し補助金等を交付するなどの誘導施策を講じる必要がある。

○現状

1. 既設道路の質的向上

2. 既設道路の維持管理の徹底

○課題

1. ガードレールなどの交通安全施設の充実、街路灯の増設、右左折レーンの確保、道路幅員の拡大、寒冷地にあった歩道路盤厚の増強など、既存道路の質的向上を進める必要がある。

また、地域の状況に合った構造令の見直しと取扱いの緩和を進めるべきである。

2. 道路舗装面の整備、除排雪の徹底、側溝・法面等道路周辺の環境等維持管理に努める必要がある。特に市町村にあっては財源確保に苦慮しており、財源充当の強化を図るべきである。

②-2 地域の目指すべき将来像

1. 交通事故をなくす交通安全施設の整備

住民要望の強い、交通信号機、道路標識、横断歩道の整備について、警察庁と調整を図りながら道路特定財源の用途を拡大し充実する。

2. 歩行者と自転車の共存ができる歩車道の整備

歩行者に自転車が接触し、人身事故に至るケースが増加している。歩行者と自転車が共存できる歩車道の整備を進める。

3. ユニバーサルデザインの道路

高齢者や心身に障害を有する人達が、気軽に外出できる環境を創出することが、健常者にとっても住みよい街をつくることである。このため、交差点での段差解消や幅員が広い車椅子が動きやすい歩道の整備を進める。

4. 景観に配慮した道路整備

シーニックバイウェイ北海道の推進や市街地における電線等の地下埋設等、景観に配慮した道路整備を進める。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

北海道音更町

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項 ・ 都市交通の快適性、利便性の向上 ・ 総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	○代表事例 ・ 遅れ気味の維持管理について、選択と集中により正確な見通しを立てるため、国の支援が必要 ・ 幹線道路の交通事故対策、雪道時の視距確保、安定した既存道路の予防保全を図る。	○期待する効果や評価等 ・ 適切な維持管理により、将来的な延命及びライフサイクルコスト縮減につながる。 ・ 安全・快適な道路空間を確保	○その他
---	---	---	-------------